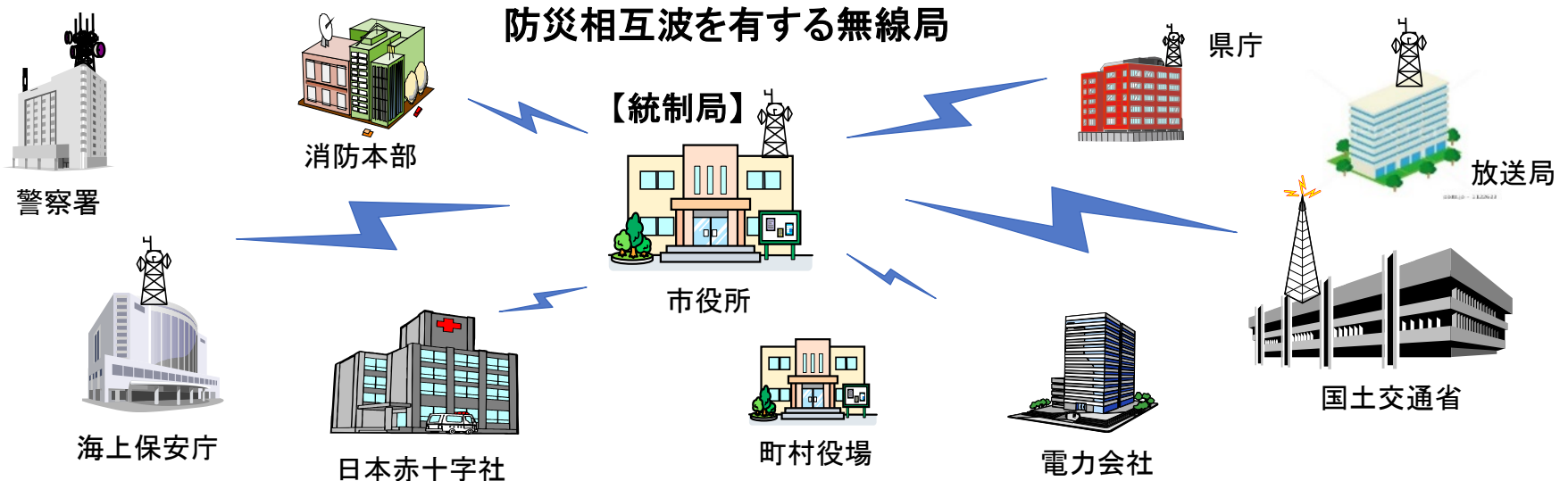


【訓練概要】

- ❑ 非常災害時等において、国、県、市町村及び防災関係団体間の通信を可能とする防災相互波（150MHz帯及び400MHz帯の各1波）を使用した感度交換訓練を実施。
- ❑ 信越管内を地形等を考慮してブロック分けし、150MHz帯17地区及び400MHz帯3地区において、あらかじめ選定した統制局を中心に訓練参加の各局と通信を実施。
- ❑ 参加無線局：令和2年度は信越管内における防災相互波を実装する60機関、115局が参加。



【訓練結果等】

- ❑ 防災相互波を有する近隣の防災関係機関との通信可能エリアを相互に把握。
- ❑ 無線を取り扱う機会が減少傾向にあるもとで、通信方法の習熟に貢献。
- ❑ デジタル化の促進のもとで、防災相互波を有する無線局が減少傾向にあることから、デジタル方式の防災相互波の確保など、今後の方向性の明確化や早期の体制確立が望まれる。